

的場委員（民主県政会）

平成 31 年 2 月 25 日

知事答弁実録

（教育委員会）

（問）定数内臨時教員の正規職員化に必要な財源の確保について

県が進める教育施策を実現するためには、定数上の教職員については、できる限り正規職員を配置することが必要と考えるが、正規化に必要な財源をどのように確保していくのか、教育予算について責任を持つ知事の所見を伺う。

（答）

本県では、「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」に向けて、様々な教育施策を展開しているところでございます。

こうした施策を一層推進していくためには、高い志を持った人材の確保が不可欠であり、できる限り、教員の配置については、本務者が望ましいと考えております。

仮に、平成 31 年度の予算積算における定数内臨時的任用職員を全て正規職員とした場合、約 7 億円が必要となるものと試算しております。

私といたしましては、教育委員会としっかりと連携をいたしながら、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造できる人づくり」の推進が図られるよう、引き続き、必要となる財源の確保に努めてまいりたいと考えております。